



「SDGs って何？ 私たちと未来をつなぐ 17 の目標」 vol. 7

今回は、「目標 9：産業と技術革新の基盤を作ろう」と「目標 10：人や国の不平等をなくそう」に焦点を当てて解説します。

【目標 9：産業と技術革新の基盤を作ろう】

この目標は、「持続可能な産業や技術革新を基盤として、インフラを整え、経済成長と環境保護を両立させる」ことを目指しています。

世界には、技術革新やインフラ整備が進んでいる地域がある一方、基盤設備が不足している地方や途上国では、経済活動の停滞や生活の質の低下が課題となっています。持続可能なインフラ整備は、この状況を改善する鍵となります。

上島町は瀬戸内海の島嶼地域に位置し、交通インフラの整備が地域の発展にとって重要です。具体的な取り組みとしては次のものがあり、

- ・地域を結ぶフェリーなど交通網の維持・強化
- ・ゆめしま海道の全線開通

これらの取り組みの両立は、地域の持続可能性を高めるだけでなく、今後の経済成長を支える基盤となります。

【目標 10：人や国の不平等をなくそう】

目標 10 は、「すべての人が平等な権利を享受し、不平等を解消する」ことを目的としています。

世界では、所得、教育、健康、性別など多くの要因による不平等が人々の生活に影響を与えています。この目標は、社会の公平性を促進し、不利益や格差を是正することが目的です。上島町では、地域生活を安定し、不平等を解消するために次の取り組みを実施しています。

- ・空き家バンクを活用した移住者支援
- ・子育て世帯への支援
- ・公営塾「ゆめしま未来塾」の設置・運営

これらにより、移住者が地域に順応しやすい環境が整うとともに、経済的・社会的格差が縮小することが期待されます。また、人口減少や高齢化への対応も地域内の不平等を改善する重要な施策です。

産業の振興や技術革新の整備、公平性を重視した社会づくりは、持続可能な未来のために欠かせません。私たち一人ひとりができることを考え、より良い社会の実現に向け努力することが重要です。



■ 問い合わせ
企画情報課 ☎ 77-2500

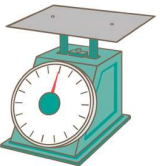
愛媛県計量検定所からのお知らせ

「特定計量器（はかり）」の定期検査を実施します。

取引または証明に「はかり」を使用されている方は、2年に1度の定期検査が計量法により義務付けられています。合格シールのないはかりは原則、使用できません。

次のいずれの会場でも受付できますので、必ず受検してください。

なお、ヘルスメーター、キッチンスケール等を家庭内で使用している場合は、検査の必要はありません。



日 時		検査場所
10月1日(水)	12:20～12:50	魚島総合支所
	14:30～16:00	弓削総合支所(町民プラザ)
10月2日(木)	10:00～11:30	生名総合支所
	13:00～14:30	岩城総合支所

● 問い合わせ
愛媛県計量検定所 ☎ 089- 970- 7021

双葉俳壇一九二回句集【岩城】

流したる七夕竹に手を振る児
亡き人に手向ける線香花火かな
海上で大花火待つ船数多
七夕や願いは一つ世の平和
万博の空を彩どる大花火

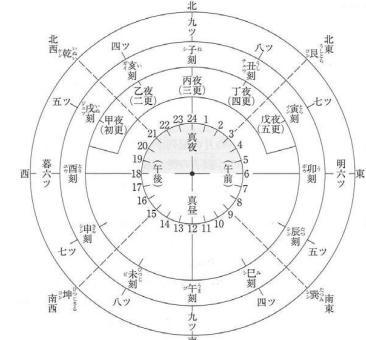
七夕や今宵は会える二人かな
七夕の願いの一枚風に舞う
星祭人影二つ沈下橋
田中 華丘
森本 伸子
古林 幹枝
田名後 簗雨



かみじま郷土話 33



▲佐島の八幡神社拝殿天井にある逆針羅針盤



▲時刻と方位 (山川出版社「新版図説歴史散歩事典」より引用)

佐島の不思議な羅針盤

佐島の八幡神社拝殿の天井には、羅針盤がはめこまれています。この羅針盤の方角を確認すると、東西が逆になっていることがわかります (写真参考)。この羅針盤は逆針 (さかばり) 羅針盤と呼ばれるもので、江戸時代末期の作と伝わっています。繁村清太郎船長により奉納されました。

通常の羅針盤は方角を知るための道具ですが、逆針羅針盤は船に取り付けて使用されました。逆針羅針盤の子 (北) を、船首の方向 (進行方向) に固定して設置すると、船が北に進んでいる時は、通常の羅針盤と同じく針は北を指しますが、東に進んでいる時は、針は東

を指し、西に進んでいる時は、針が西を示すというふうに、船が向かっている方角が一目で分かるという便利な道具でした。

逆針羅針盤は、明暦年間 (1655～1658) に金沢清左エ門によって発明されたと伝わる日本独特のものになります。神社に立ち寄った際は、天井を見上げてみて下さい。



生涯学習課
曽根 大地